

道 東 自 動 車 道
狩勝第二トンネル西工事

割 掛 対 象 表 参 考 内 訳 書

割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、工事の実施にあたっては、この主旨を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段において、受注者の責任において定め、施工するものである。

なお、割掛対象表参考内訳書の内容について質問することはできない。

令和6年12月

東日本高速道路株式会社 北海道支社
帯広工事事務所

割掛対象表参考内訳書 1 / 6

【 共 通 仮 設 費 】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	ホイールダ（トラクショベル）サトダンプ 3.0 m ³ 級：24－1 台－1 往復 ダンプトラック 25t 積み：4 台－1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】	－
工事用機械分解組立費 （ 土 工 ）	土工及びずり処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	バックホウ 1.0m ³ ：1 台－1 往復 湿地ブルドーザ 20t：1 台－1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離：約 160.0km（片道）】	－
工事用機械分解組立費 （ 構 造 物 掘 削 ）	構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	湿地ブルドーザ 20t：1 台－1 往復 クローラークレーン 50t 級：1 台－2 往復 クラムシェル 0.6m ³ ：2 台－1 往復 硬質地盤専用圧入機：3 台－1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】	－
工事用機械分解組立費 （ 橋 梁 基 礎 工 ）	橋梁基礎工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	全周回転式掘削機（Max 径 1.2m 据置式）：2 台－1 往復 クローラークレーン 65t 級：2 台－1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】	
工事用機械分解組立費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	3 ブームホイールジャンボ 170kg 級：1 台－1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150kg 級：1 台－1 往復 コンクリート吹付け機エレクトラ型 6～22m ³ /h 級：1 台－1 往復 コンクリート吹付け機 20 m ³ /h 級：1 台－1 往復 ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km（片道）】	－
仮 設 材 等 運 搬 費 （ 構 造 物 掘 削 ）	構造物掘削工で使用する仮設材等（鋼矢板、腹起し等）の運搬に要する費用をいう。	【構造物掘削 特殊部 A 1（串内橋 P1）】 ・鋼矢板：83.220 t ・腹起し・火打ち：26.962 t ・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース：3.116 t 計：113.298 t 【構造物掘削 特殊部 A 2（串内橋 P3）】 ・鋼矢板：71.760 t	○

割掛対象表参考内訳書 2 / 6

		<ul style="list-style-type: none"> ・腹起し・火打ち : 35.268 t ・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.692 t <li style="text-align: right;">計 : 111.720 t 【構造物掘削 特殊部 A 3 (串内橋 P4)】 ・鋼矢板・鋼矢板継手 : 81.930 t ・腹起し・火打ち : 30.962 t ・隅角ピース・カバープレート・火打受ピース : 4.356 t <li style="text-align: right;">計 : 117.248 t 【構造物掘削 特殊部 A 4 (串内橋 A 2)】 ・鋼矢板 : 33.240 t ・腹起し・火打ち : 5.760 t ・カバープレート : 0.136 t <li style="text-align: right;">計 : 39.136 t ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km (片道)】 	
仮設材等運搬費 (トンネル)	トンネル工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。	避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 <ul style="list-style-type: none"> ・H150×H150 0.9t ・副資材 3.3t ○基地からの運搬【運搬距離：約 170.0km (片道)】	—
電力基本料金費	電力等の基本料に要する費用をいう。	高圧電力 A 総電力使用量：1,095,241kWh 北海道電力株式会社	—
土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：1回	—
地盤調査等費	平板載荷試験に要する費用をいう。	トンネル坑門工：：1箇所 串内橋 (P3、P4)：2箇所	—
ロックボルト長さ 検査費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数：18.8ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	—

割掛対象表参考内訳書 3 / 6

火 薬 庫 費	火薬庫の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—
トネル呼吸用 防 護 具 費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用 防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具：1式 トンネル延長：1,230.4m	—
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確 認に要する費用をいう。	トンネル坑門工 上向：2箇所、側面：4箇所 串内橋下部工 側面：92箇所	—
基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験 に要する費用をいう。	コンクリートT1－4：1回 コンクリートT3－4：1回	—

【準備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事車両泥落とし装置費	泥落とし装置に要する費用をいう。	トマム団体線ずり置場 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 1箇所 設置撤去：1回 設置期間：26.5ヶ月	
坑内外仮設備保守費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用を いう。	昼夜2交替（8h2方） 保守期間：18.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—
坑内仮排水設備費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサ ンドポンプに要する費用をいう。	強制排水設備 排水ポンプ①（強制排水用）設置期間：20.8ヶ月 排水ポンプ②（強制排水用）設置期間：9.5ヶ月 送水管：ガス管白ネジ付きφ100mm 延長1248.4m(坑内)+50.9m(坑外)=1,299.0m サンドポンプ（切羽箇所用）φ50mm×2台 設置期間：20.8ヶ月（掘削開始～覆工完了）	—

割掛対象表参考内訳書 4 / 6

【仮設備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足場工費	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 ・串内橋下部工 4,539.8 空 ^m	—
足場工費 （非常駐車帯妻部）	トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 ・44.3 空 ^m （44.333 空 ^m ／箇所×1 箇所）	—
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	25t ダンプ延運転月数：61.6 ヶ月（4 台）	—
吹付設備費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立解体 1 式 設備期間：18.8 ヶ月（掘削開始～掘削完了） （基礎コンクリートの処分費を含む）	—
積卸し設備費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	トンネル掘削の施工期間：18.8 ヶ月（掘削開始～掘削完了） 覆工作業単独の施工期間：2.0 ヶ月	—
換気設備費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 2,000 m ³ ／min（110kw×2） 設置期間 17.3 ヶ月 電気式集じん機 2,400 m ³ ／min（64kw） 設置期間 9.2 ヶ月	—
給水設備費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：1248.4m、坑外配管延長 52.6m 設備期間：20.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了） 取水設備：水中ポンプ φ80mm、送水管延 172m 取水設備期間：20.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了）	—
工事用電力設備費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び照明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル片押し延長：約 1,230m 引込分岐点から坑口までの距離：約 160m	—
工事用電力費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：約 1.3 万 kw 電力使用期間：20.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了）	—
足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：1,230.4m	—

割掛対象表参考内訳書 5 / 6

吹付プラント 冬期養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬期養生及び練り混ぜ水用のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気積 約 1,080 m ³ 養生期間：11.0 ヶ月	—
汚濁水処理設備 冬期養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬期養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気積 約 540 m ³ 養生期間：11.0 ヶ月	—

【雑工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
のり面仕上げ費	共通仕様書 2-6-5（8）及び 2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	切土部のり面仕上げ：1,685.0 m ² 盛土部のり面仕上げ： 370.0 m ²	—
沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	本線部 STA. 1075+0.00 付近：1 箇所 送水設備：工事用水中ポンプ φ 50mm、送水管延 160.7m、 高密度ポリエチレン管 φ 100mm（埋設部に設置） 25.0m 設備期間：23.0 ヶ月	○
コンクリート 寒中養生費	寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。	串内橋 P3 橋脚 保温シート：718.9 m ² 打設回数：4 回	—
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間：18.8 ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—
構造物水抜孔費	コンクリート構造物に設置する水抜孔に要する費用をいう。	橋梁工：VP（φ 75）L=18.0m A1：L=9.0m A2：L=9.0m	
くい頭処理費	場所打ちぐいのくい頭はつり及び発生材の処分に要する費用をいう。	串内橋 φ 1200：60 本	—
支承アンカーボルト 箱 抜 費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバー、落橋防止装置を設置するための、箱抜に要する費用をいう。	串内橋：φ 200：102.7m	○
箱 抜 工 費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜に要する費用をいう。	箱抜き型枠：242.3 m ² 箱抜き補強材の設置：1.8t 既設支保工撤去：2.8t	—

割掛対象表参考内訳書 6 / 6

インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	インバート妻型わく：1,160.6 m ²	—
非常駐車帯妻型わく費	非常駐車帯妻壁部コンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	非常駐車帯妻型わく：18.5 m ²	—
坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	土のう（62cm×48cm）：2,112 袋 外型枠（キーストプレート（黒皮品）650×25×1.2）：52.4 m ² コンクリート吹付（t=10cm）：273.4 m ² コンクリート吹付（t=20cm）：49.8 m ² 継ぎ材（等辺山形鋼（50×50×6））：542.9kg やらず（φ180（松丸太） L=7.0m）：2 本	○
防音扉費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する扉に要する費用をいう。	防音扉設置撤去：1 基（76.3 m ² ） ※基礎コンクリートの処分費を含む	○
仮囲い費	工事箇所と高速道路本線との境に設置する仮囲い要する費用をいう。	高さ：H=3.0m 設置延長：L=11.0m+229.0m+94.0m=334.0m	○
土砂等防止柵費 （盛土のり面用）	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：L=80m	○
避難連絡坑補強費	避難連絡坑の施工に伴って行う、既設本坑のロックボルトの撤去及び補強ロックボルト、接続アンカーの設置に要する費用をいう。	供用線ロックボルト撤去（L=4.0m×6 本） 補強ロックボルト（L=2.0m）打設：8 本（8 本×1 箇所） 接続アンカー設置：37 本（37 本×1 箇所） 【移動足場】 自走式リフトホイールブーム型足場（揚程 8m～9m 未満） 8 日/箇所	○